

JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌『ちゃぐりん』を使って、農や食のことを学ぼう！

みんなが通う小学校に毎月、JAからお届けしている『ちゃぐりん』をあぐりキッズスクールでも教材として活用しているんだ。あぐりキッズスクールに参加してくれるみんなにも5～4月号まで(1年間)毎月プレゼントするよ。忘れずに持ってきてね



『ちゃぐりん』は農業や食べ物、自然、工作、歴史などがのっていて、いろんなことが学べるわ。わたしも毎月届くのを楽しみにしているの



募集要項

大切なことが書いてあるからおうちのひとと一緒によく読むのじゃ

1.開催目的

JAたじま管内の子どもたちに農業体験を通して「食」と「農」のつながりや地元の農業を学んでもらい、但馬の農業を好きになってもらうことを目的として開催します。

2.主な会場

下記の2会場で開催します。

【出石会場】豊岡市出石町宮内
【香住会場】香美町香住区下浜

3.対象者

JAたじま管内の、**新年度から小学3～6年生になる児童**。
2年生以下のお子様の参加はお受けできません。

4.募集定員

各会場20人。申し込みの締め切りは**令和8年3月1日(日)**。
申し込みが多数の場合は抽選を行い、初めての方を優先とします。

5.開催期間

令和8年4～11月。開催日は会場により異なります。

6.入校費

1人につき8,000円(教材費、体験料、傷害保険料等を含む)で、初回の受付にてお支払いください。
同居の保護者のいずれかがJAたじま組合員の場合は、1,000円割引いたします。また入校日までに新規に組合員になっていただいた方も割引対象とさせていただきます。
特別活動の際などには、入校費とは別に実費をお支払いいただくことがあります。欠席による割引は行いません。
ただし、諸般の事情によりカリキュラムの開催を断念した場合は、全課程修了後に精算し、中止分をご指定の口座に返金いたします。

7.お申し込み方法

下記の二次元コードから、JA たじまの **LINE 公式アカウント**をお友だち追加してください。LINE のリッチメニューの応募フォームから必要事項を入力してください。

8.その他

- ①活動はクラスごとに行います。参加者のクラス分けは JA が行います。
- ②お申し込みをいただいた方には、後日、郵送にて連絡を差し上げます。開催日近くになっても連絡のない場合は、地域ふれあい課までお問い合わせください。
※郵送後、自己都合により参加を取り消す場合は、キャンセル料として参加費全額を徴収させていただきます。
- ③各会場の初日に開く保護者会で、スクールでの留意事項等をお伝えします。
- ④食事を伴うカリキュラムでは、アレルギーをお持ちのお子さまに対し、別メニューを用意する予定はありません。
- ⑤団体行動を著しく乱す、危険を及ぼす行為など注意しても改善の余地が見られない際には、該当するお子さまに中途での脱退を申し出る場合があります。

9.お問い合わせ先

不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

JAたじま 生活福祉部地域ふれあい課
〒668-0051 豊岡市九日市上町550-1
TEL: 0796-24-6488 (平日9～17時)
e-mail: seikatu@ja-tajima.or.jp



JA たじま公式 LINE
二次元コード

農と食、但馬の魅力を体験 あぐりキッズスクール 参加者大募集！

令和8年度
第16期生

小学生の
みんな
集まれ！

JAたじまでは毎年、小学生を対象とした農業体験教室「あぐりキッズスクール」を開校しています。但馬地域で作られている特産品を地元農家の方に教わりながら栽培し、収穫したお米や野菜を自分たちで調理して食べることで、食と農のつながりを楽しく学べます。元気な子どもたちの参加を待っています。



リム

弱点 夢中になったら時間を忘れる
特性 食べることが大好き

ひとりじゃ
できないことも、
みんなとなら—

あいこ

弱点 元気過ぎて突っ走る
特性 愛情を注いで野菜を育てる

ぜったい、
おいで

グリーンじい

詳しい活動内容は
チラシの中面を見るのじゃ

弱点 話が長い こだわりが無限
特性 但馬の野菜を使った料理が得意

「農」
の体験

但馬全域で作られているお米とピーマンのほか、会場ごとに、その地域にちなんだ農作物を栽培します。

「食」
の体験

自分たちの手で刈り取ったお米を「かまど」を使って炊きます。まきを入れ、火をおこす体験もします。

「但馬」
を知る体験

スクールでの体験を通して地域の名産や特産を学び、但馬の魅力を発見します。